

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	文化の発信・交流	施策	① 国内外における文化交流の推進と発信力の強化
			施策の小項目名	○沖縄文化を軸とした国内外との交流・発信
主な取組	沖縄空手の振興			
対応する主な課題	③先人が築き上げた伝統文化である沖縄空手の保存・継承・発展のために、沖縄空手会館を拠点とした国内外への情報発信や空手愛好家の受入体制強化、後継者育成が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容	年度別計画				
	H29	H30	R元	R2	R3
<p>沖縄空手を保存・継承・発展させるため、国際セミナーの開催や指導者の海外派遣等を実施し、国内外における沖縄空手の普及・啓発並びに世界の空手愛好家の来訪促進を図るとともに、指導者・後継者の育成を図る。</p>	国際大会開催による国内外空手愛好家の来訪促進		第1回沖縄空手少年少女世界大会開催による国内外空手愛好家の来訪促進		
	沖縄空手の目指すべき将来像を定めた沖縄空手振興ビジョン（仮称）の策定				
	沖縄空手国際セミナー 1回				→
	空手の日記念演武祭 1回				→
	海外指導者派遣 2カ国				→
	沖縄空手会館を中心とした沖縄空手の情報発信、指導者及び後継者の育成				
実施主体	県				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課		【098-866-2232】		
	ユネスコ無形文化遺産への登録に向けた取組				

様式1(主な取組)

2 取組の状況 (Do)



(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源		
沖縄県空手振興事業										
一括交付 金(ソフト)	委託	—	—	230,536	163,297	154,000	109,532	一括交付 金(ソフト)	OR元年度：沖縄空手を振興するため、空手関係イベントの開催や沖縄空手会館を拠点とした利活用事業等を展開 OR2年度：沖縄空手を振興するため策定した沖縄空手振興ビジョン等に基づき、第1回沖縄空手少年少女世界大会の開催準備等の各種施策を展開	
予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源		
									OR元年度： OR2年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	沖縄空手国際セミナーの開催				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	1回	1回	1回	1回	1回	1回	100.0%	154,000	順調	国際セミナー、空手の日を記念した奉納演武及び記念演武祭、空手指導者を海外に派遣してセミナーを開催するなど「空手発祥の地・沖縄」や沖縄空手に関する情報を国内外に広く発信した。
活動指標名	空手の日記念演武祭の開催				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	1回	1回	-	1回	1回	1回	100.0%			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 10月に空手の日を記念して奉納演武及び記念演武祭を、1月に国際セミナーを開催した。また、9月と1月に空手指導者を海外に派遣しセミナーを行った。 これらにより、「空手発祥の地・沖縄」や沖縄空手に関する情報を国内外に発信するとともに、沖縄空手の普及・拡大及び指導者・後継者の育成を図ることができた。
活動指標名	空手指導者の派遣				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	1カ国	2カ国	4カ国	2カ国	2カ国	2カ国	100.0%			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
・沖縄空手振興ビジョンの実現に向けて、行政、空手関係者、経済界等が連携して沖縄空手を広く発信し普及・発展を図るとともに、指導者・後継者を育成し保存・継承等を図る。						・沖縄空手を振興するため策定した「沖縄空手振興ビジョン」及び「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」に基づき、県及び関係者が連携して各種施策を展開することで、「空手発祥の地・沖縄」及び沖縄空手に関する情報を国内外に広く発信し、沖縄空手の普及・発展及び指導者・後継者の育成等を図ることができた。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ 沖縄空手を振興するため策定した沖縄空手振興ビジョン及び同ロードマップに基づき、空手関係イベントや沖縄空手会館を拠点とした利活用事業等を展開した。

○外部環境の変化

・ 空手が2020年東京オリンピックの正式種目となったことから、「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信する絶好の機会が生まれた。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 沖縄空手の保存・継承・発展を図るため、20年後の目指すべき将来像を描いた「沖縄空手振興ビジョン」及びその具体的な工程となる同ロードマップの着実な実現に向けて、行政、空手関係者、経済界等がこれまで以上に密に連携する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ 沖縄空手の保存・継承・発展を図るため、20年後の目指すべき将来像を描いた「沖縄空手振興ビジョン」及びその具体的な工程となる同ロードマップの着実な実現に向けて、行政、空手関係者、経済界等の連携を密にして各種施策を実施する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	文化の発信・交流	施策	① 国内外における文化交流の推進と発信力の強化
			施策の小項目名	○文化発信交流拠点の形成
主な取組	琉球王国文化遺産集積・再興事業			
対応する主な課題	②沖縄は魅力的な文化資源に恵まれているが、こうした文化資源の魅力を効果的に発信していくための基盤が不十分であり、発信力の強化が課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
取組内容		H29	H30	R元	R2	R3
戦災等により失われた8分野の工芸品製作のティーワジャ(手わざ)など王国時代の精緻で至高の技の世界を現代に蘇らせ、世界に誇る沖縄の手わざの力をモノを通して国内外へ発信し、琉球王国文化をブランドとした文化観光拠点として沖縄をアピールする。		復元品の製作(累計)		58件		
実施主体	県	王国文化遺産の再興による復元品製作				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課	【098-866-2768】			復元した王国文化遺産の発信・展示	

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名	琉球王国文化遺産集積・再興事業						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	主な財源	令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
一括交付金(ソフト)	委託	39,993	150,657	182,088	102,845	91,482	76,983	一括交付金(ソフト)	OR元年度: 琉球王国時代の模造復元品の製作を行い、24件の復元品が完成した。また、当館で成果に関する展覧会を開催した。 OR2年度: 模造復元品の製作を行い5件を完成させる。また、成果に関する展覧会、報告会を県内で4回開催する。
予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	主な財源	令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
									OR元年度: OR2年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	模造復元品の製作(累計)				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	7件	18件	36件	60件	58件	100.0%	91,482	順調	戦災等により失われた8分野の工芸品(絵画、木彫、石彫、漆芸、染織、陶芸、金工、三線)の模造復元品を製作し、令和元年度は絵画1件、石彫1件、染織16件、陶芸5件、金工1件の計24件が完成した。また復元資料を紹介する展覧会及び製作者による報告会、ワークショップ、監修者による講演会を開催した。
活動指標名					R元年度					
実績値										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 平成27年度に作成した実施設計書を基に、平成28年度から絵画、木彫等8分野にわたる模造復元品の製作を開始し、令和元年度は染織や陶芸などの復元品24件が完成し、これまでに計画値58件を超える60件が完成し、製作が順調に進んでいる。また、復元資料の展覧会を開催し約4000人以上が観覧し、さらに報告会等に471人が参加した。
活動指標名					R元年度					
実績値										
活動指標名					R元年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 琉球王国の崩壊や先の大戦で破壊された文化財の模造復元品の質の高い復元を行うため、監修者会議や製作者と綿密に連携しながら、試作の過程で見つかる、素材、技法などに関する新たな課題に対応しつつ、完成までの工程管理を行う。 本事業の周知並びに王国文化の理解、活用の促進のため、製作工程で得られた知見等を発表する報告会やシンポジウム、ワークショップ等、これまで完成した模造復元品を使った展覧会等を実施する。 						<ul style="list-style-type: none"> 模造復元製作のための監修者会議を8分野ごとに各2回実施し、成果として模造復元資料を24件完成させた。 本事業の周知並びに王国文化の理解のため過年度までの復元資料を紹介する展覧会「手わざ」展を開催(令和2年2月4日~3月15日)した。また製作工程で得られた知見等を発表する報告会3回、ワークショップ1回、シンポジウム1回、講演会1回を実施した他、染織や三線について論文で発表した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・復元資料を展示する「手わざ」展では、復元資料を通して琉球王国の文化や製作工程を幅広く紹介するための発信方法を工夫する必要がある。

○外部環境の変化

・沖縄への観光客の増加や首里城火災等により、琉球王国時代の美術工芸品等の文化財やその復元に対する関心が高まっている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・一般の方から美術工芸品製作関係者まで幅広い興味に応えるため、製作した復元品及び事業で得た知見について効果的な発信方法を工夫する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・琉球王国文化の理解の向上、事業成果の活用の促進のため、手わざによって復元した資料を紹介する展示会をはじめ、製作工程で得られた知見等を発表する報告会や講演会、ワークショップ等を県内各地で開催する。